道路ができるまでの流れ

1 道路の計画

交通量や混雑状況を調査し、地域に必要な道路について計画します。



2 計画の説明（土地立入了解）

計画が決まると関係者に説明を行い協力を求めます。



3 路線測量・地盤調査

道路をつくるため必要な資料の収集・調査図面の作成を行います。



4 道路の設計

測量図面や収集した資料をもとに利用しやすい道路や橋等の設計を行います。



5 設計の説明

関係する方に道路の設計について説明を行い、設計について了解をいただきます。



6 用地巾杭設置

設計に基づき道路建設に必要な用地の範囲を示す杭を打設します。



7 用地の調査

道路建設に必要な土地・建物の調査を行い、用地境界確認のため、立会をお願いします。



8 用地価格の交渉（契約・支払い）

用地調査結果をもとに地権者と価格等について交渉を行い、契約合意を得た後、補償金の支払いを行います。



9 工事の説明

工事の方法、期間、交通処理などの説明を行います。



10 工事

設計に基づいて道路や橋をつくります。



11 完成（開通）

計画から工事までいろいろな方の協力によって快適な道路ができあがります。





国土交通省 東北地方整備局
岩手河川国道事務所
〒020-0066 岩手県盛岡市上田4丁目2-2
TEL.019-624-3131（代）
ホームページアドレス　http://www.thr.mlit.go.jp/iwate/

VEGETABLE OIL INK

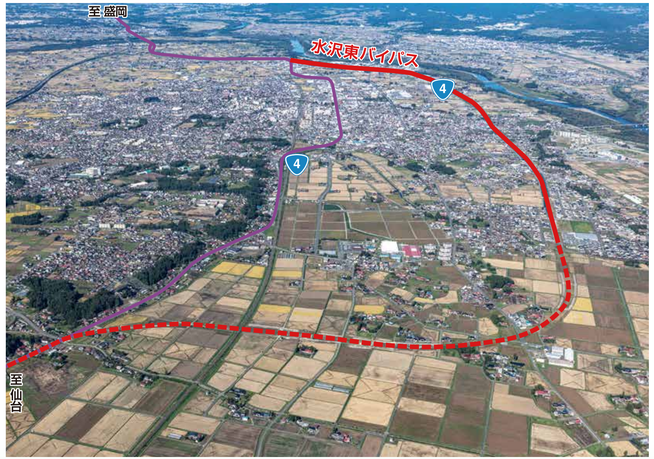
R50 古紙パルプ配合率50%再生紙を使用

水沢・日高火防祭（ひたかぶせまつり）

R5.3 作成

mizusawa higashi bypass

一般国道4号
水沢東バイパス



国土交通省 東北地方整備局
岩手河川国道事務所

事業概要

一般国道４号は、東京を起点として福島県、宮城県、岩手県を経て青森県に至る東北地方の地域の暮らしや物流・産業の支え、社会経済の発展に重要な役割を担っている主要幹線道路です。

水沢東バイパスは、奥州市水沢の国道４号の交通混雑解消と、交通安全の確保、沿道環境の改善を図ると共に、東北縦貫自動車道や東北新幹線水沢江刺駅とのアクセス向上等を目的として、昭和６０年度より事業を進めてまいりました。

現在までに、終点側より延長６，９００mについて、暫定２車線で開通しています。

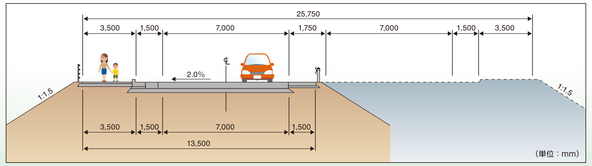


バイパス計画諸元

路線名	一般国道4号
区間	起）奥州市水沢真城字東大深沢（おうしゅうしみずさわまきしろあざひがしおおふかさわ） 終）奥州市水沢佐倉河字十文字
延長	9,600m
幅員	25.75m：4車線（13.5m：暫定2車線）
規格	第3種第1級　設計速度　80km/h

事業のあゆみ	
	昭和57年度　都市計画決定
	昭和60年度　事業着手
	昭和63年度　用地着手
	平成４年度　工事着手
	平成８年度　部分開通（延長1,200m）
	平成10年度　部分開通（延長1,300m）
	平成13年度　部分開通（延長1,100m）
	平成17年度　部分開通（延長1,000m）
	令和元年度　部分開通（延長2,300m）

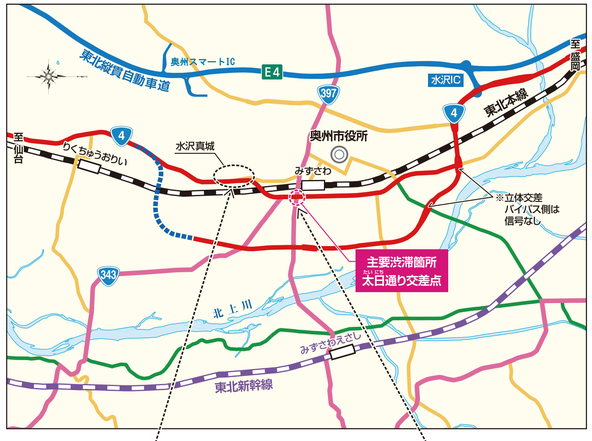
標準断面図



事業中区間における並行現道の交通状況

奥州市水沢の国道４号は、交通混雑（特に朝夕の通勤・通学ラッシュ時）が著しく、交通事故の発生や旅行速度が減少するなど沿道環境の悪化の問題が生じています。

●並行現道４号の交通状況



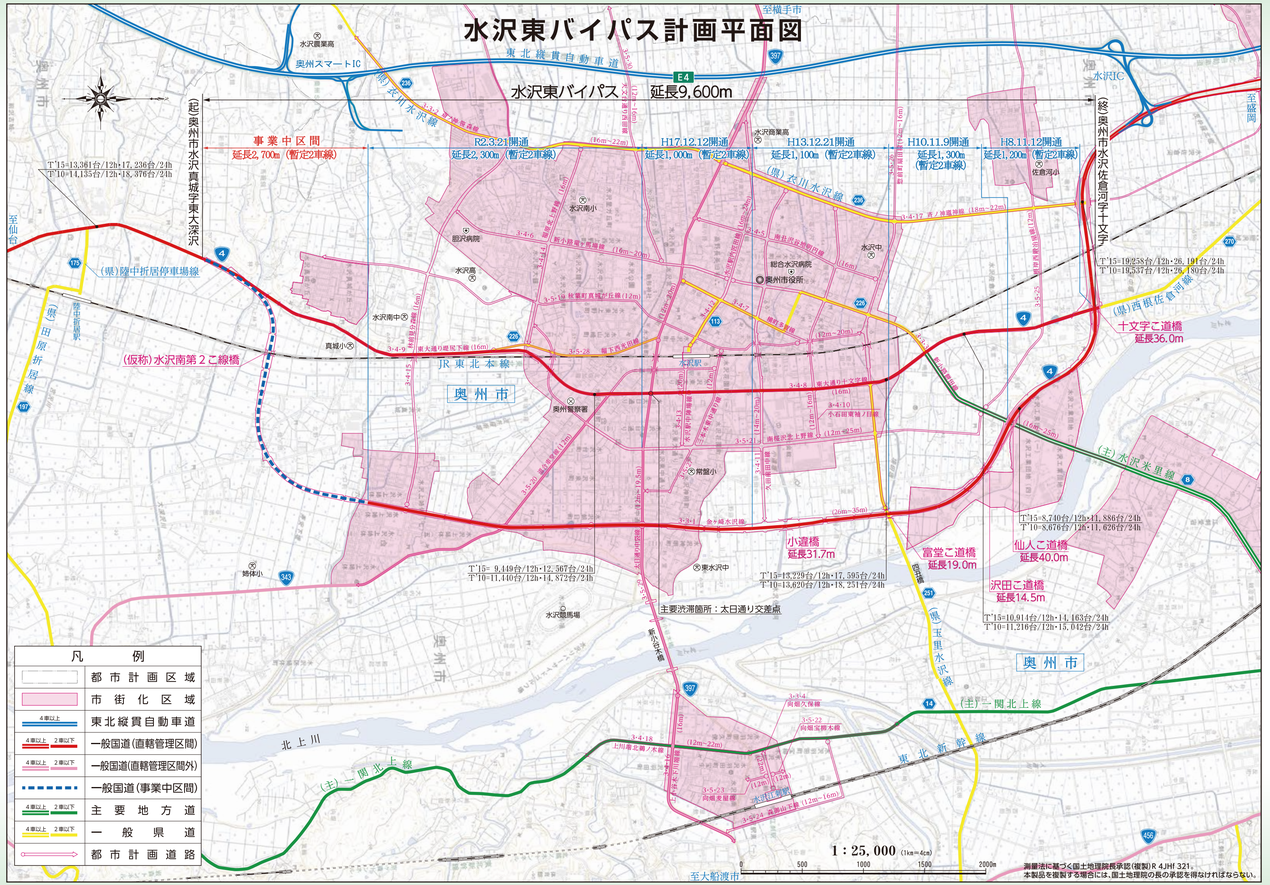


▲奥州市水沢真城付近



▲太日通り交差点～太日通り北交差点付近

水沢東バイパス計画平面図

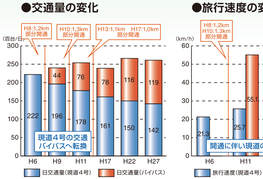


水沢東バイパスの部分開通による効果

部分開通区間の現道交通が水沢東バイパスに転換し、旅行速度の向上、交通事故の減少や夜間騒音が低減するなど沿道環境が改善されました。

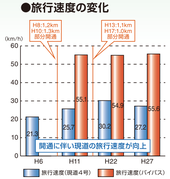


●交通量の変化



資料：各年道路交通センサス(H6～H27)

●旅行速度の変化

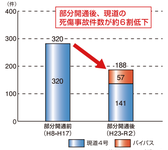


資料：各年道路交通センサス(H6～H27)



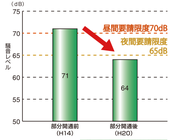
▲開通済区間（奥州市水沢東中通り付近）

●死傷事故件数の変化



資料：イタルダデータ

●現道４号の夜間騒音の変化

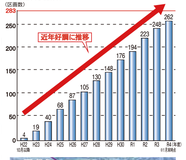


資料：岩手河川国道事務所

○水沢東バイパス未開通部分には、奥州市内の市有分譲地で最大規模のマイアネタウンが分譲中です。
○それに伴い近辺への定住者の宅地購入が進んでいます。令和５年１月末時点で約 93%販売済みです。
○水沢東バイパスの全線開通により、住民の通勤・通院等の利便性が向上します。



●全283区画あるマイアネタウンの累計分譲数





▲水沢東バイパス事業中区間 航空写真